

高卒後、進学も就職もせず、自分自身で「事業」を始める（起業する）生徒がいます。たとえば、「個人輸入販売を始める」「芸能活動をする」「イラストレーターを始める」などです。これらをまとめて「フリーランス」といいます。フリーランスへの憧れも大切ですが、十分な現状理解も必要です。

今回のテーマ

〈フリーランスという響きは魅力的ですが…〉

I 事業が軌道に乗る（収入が安定する）までには？

- ① 事業を始めるためには、必要機材等購入のための準備金が必要です。
- ② 収入が安定するまでには2～10数年かかります。基本的にこの間は赤字経営や収入0円を覚悟しましょう。
- ③ 準備金と2年間の生活費として300万円くらいは必要です。

II 収入が安定しても、じつはカツカツです。

- ① フリーランスでも、税金や国民健康保険料や国民年金掛金は発生します
- ② 確定申告等の手続きは自分で行います。
- ③ 月の収入が20万円だとしても、10万円は①の支払いに消えます。

III フリーランスは超競争社会です。

- ① フリーランスは、起業3年で100人中62人が廃業しています。
- ② 更に10年間では100人中89人が廃業しています。

IV フリーランスで成功するためには？

- ① 卒業までに十分な準備金を貯金しておきましょう。
- ② 起業する職業の専門知識や技能を他人の100倍身につけましょう
- ③ 「英語ペラペラ」、「確定申告も平気」は最低限のスキルです。
- ④ 収入を得るための手段を3つ以上確保しましょう。
- ⑤ フリーランスで成功している人は、「まずはその業界に就職し、数年後に独立（起業）する」というケースが多いようです。